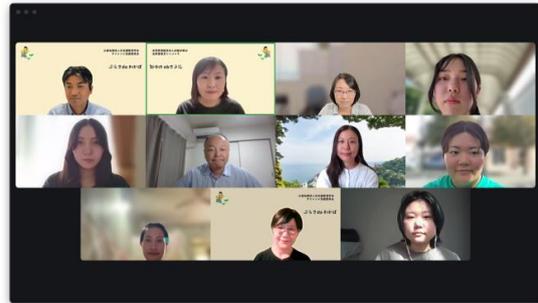


2025年9月24日

「ぷらさ da わかば」 日時：2025/9/6(土) 13:30-15:00

担当：秋田美帆（文責）・安達万里江・立部文崇・戸川朝子・春口淳一

2025年度「ぷらさ da わかば」を実施いたしました。日本語教育の世界で「わかば」な人に、先を歩く「センパイ」との対話、交流の機会を提供するこの企画は、かつては大会の中で行っていました。2024年度より大会の外に飛び出し、オンライン実施となり今回が2回目となります。運営に関しては、わかばさんの30分以上の遅刻や当日欠席（各1名）はあったものの、大きなトラブルもなく、スムーズにイベントを行うことができました。



今回は、申し込みをしてくださったわかばさん7名に事前に希望を聞き、その希望に沿って3名のセンパイにご協力いただきました。40分間、ブレイクアウトルームに分かれ、各ルーム2～3名での対話セッションを実施しました。また、セッション後には30分の「もっと話したいタイム」を設け、対話セッションで交流できなかったセンパイとわかばさんが交流できる機会を設けました。参加者全員が、互いの話に熱心に耳を傾ける様子が見られました。

事後アンケートでは、参加者のみなさまから「とてもよかった」「よかった」という意見をいただきました。わかばさんからは、「自分が感じていた疑問点を実際に日本語教師をされている先輩に質問でき、さらに日本語教師の仕事に興味を持ちました。」という声や「実際に日本語教育の現場を体験している方々からのお話を聞くことができよかったです。自身の勉強のモチベーションにもなりました。」という声がありました。これらのコメントから、センパイとの対話が、わかばさんの日本語教育への興味・関心を一層深める機会になったことが窺えます。また、センパイからは、「楽しかったです。自分の若いころにもこのようなイベントがあればよかったのと思いました。」「私にとってとても有意義な時間でした。」というコメントや、「初めて『ぷらさ da わかば』に参加したが、学部1年生や2年生で参加している学生がいたことに驚いた。質問もかなり具体的で、日本語教育への関心の高さを感じた。」というコメントがあり、センパイにとってもわかばさんとの交流が新たな気づきや刺激につながっていたことが窺えました。

今回も参加者の満足度が高く、来年度もこの形式を踏襲していきたいと考えています。必要に応じて改善を重ね、委員一同、より多くの方に参加がしやすく、充実した対話が行える場を提供していく所存です。引き続き、本企画へのご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。